

取材される方へのおねがい



衝撃的な体験をした場合、その体験が過ぎ去ったあとも記憶に残り、精神的な影響を受け続けることがあります。このような精神的後遺症のことをトラウマ（心的外傷）と言います。

これは、異常な状況に対する正常な反応であり、その多くは自然に回復していきます。ですが、体験を思い出すことで、回復が妨げられることがあるため、配慮が必要です。

取材活動の際には、以下のことに留意してください。

撮影

フラッシュなどの光や音は、恐怖体験をよみがえらせ、被災者につらい思いをさせることがあります。

インタビュー

無理に聞き出そうとすると、回復を妨げ、こころに傷を負わせてしまうことがあります。

取材活動

安全性を配慮するために、必ず、避難所管理者等の指示に従ってください。

報道

被害者にマイナスイメージを与えるようなコメントは、世間の誤解や偏見を招くことがあります。

取材者自身が、現状に圧倒されたり、被災体験を聞くことで、トラウマ状態となることがあります。

